



第 152 回

日本脳神経外科学会九州支部会

プログラム・抄録集

日時	2026 年 9 月 12 日（土）
会場	産業医科大学 医学部 2 号館 2305 講義室
住所	〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
開催形式	現地開催のみ
会長	山本 淳考（産業医科大学 脳神経外科学 教授）

主催：日本脳神経外科学会九州支部

開催事務局：産業医科大学 脳神経外科学

開催概要

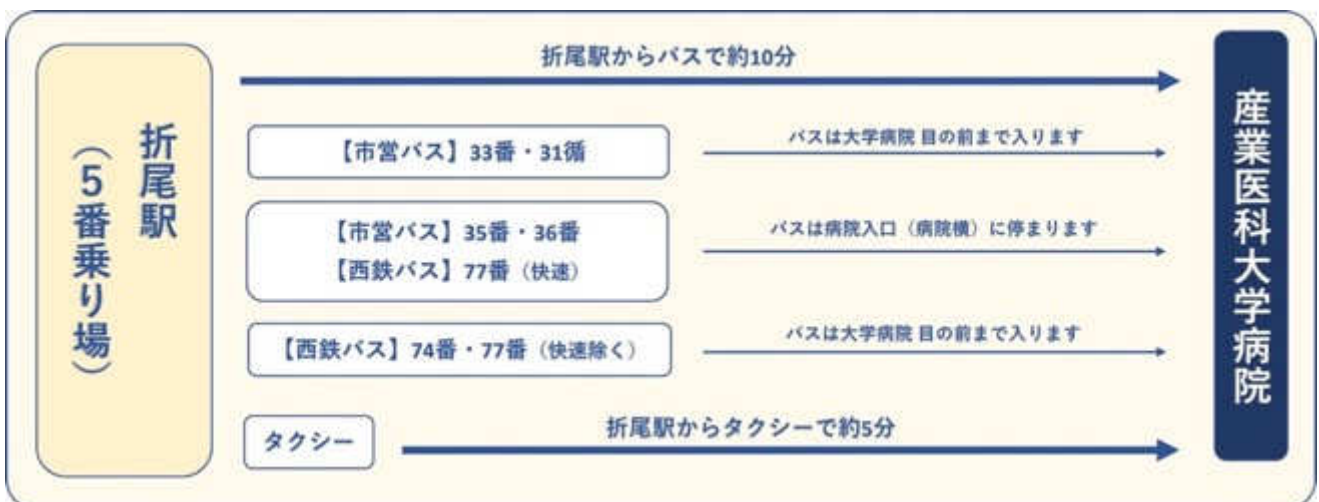
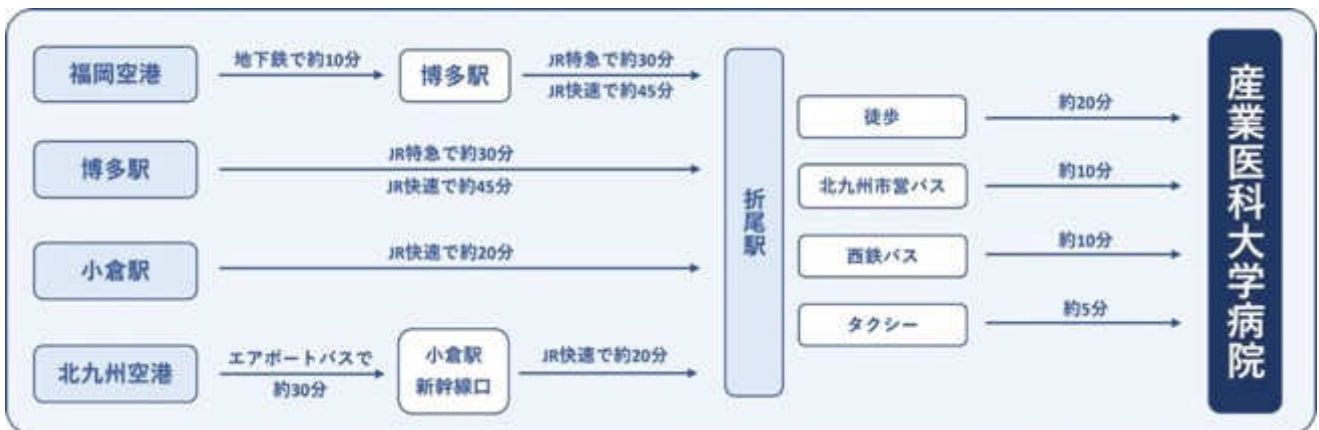
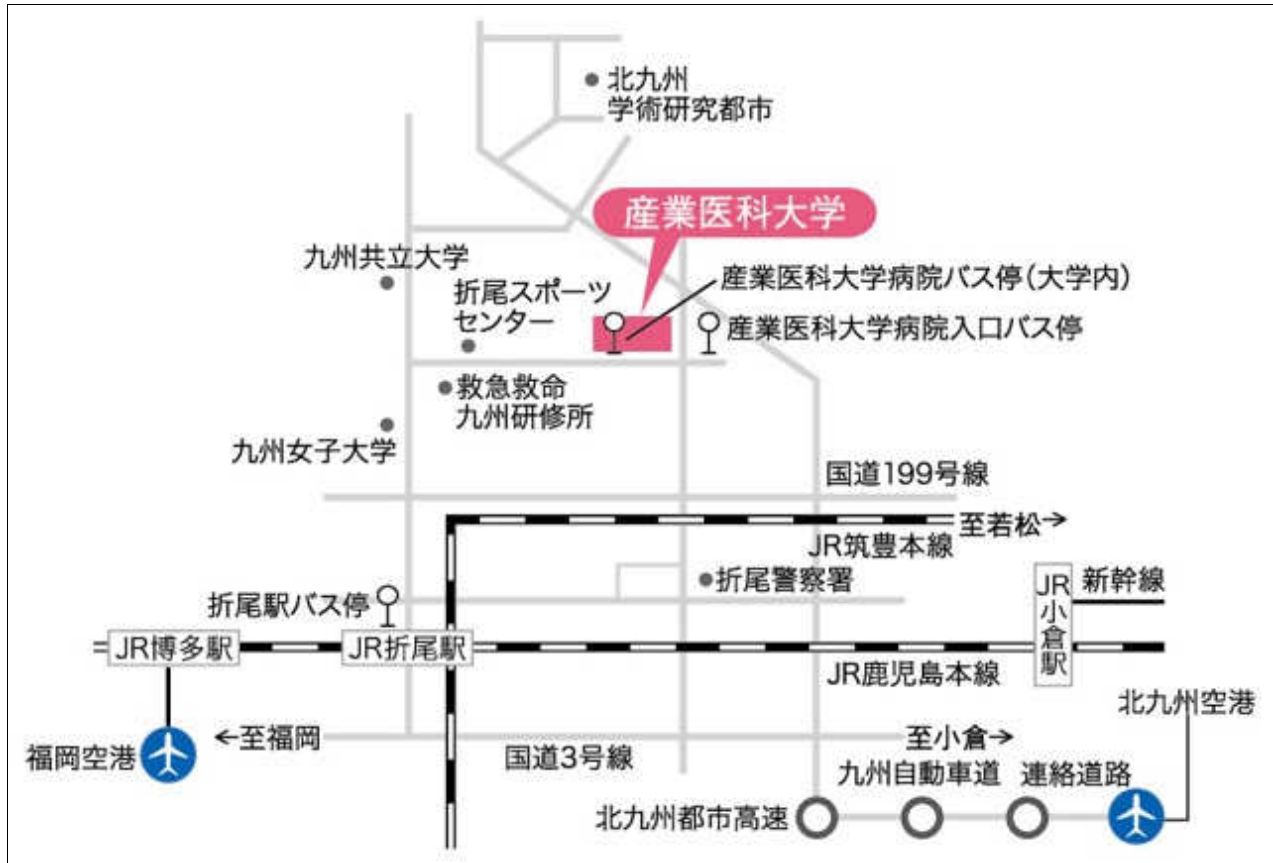
受付開始	7:30-
開会	8:00-
一般演題・English Session (2305 講義室)	8:05-17:00
ランチョンセミナー (2305 講義室) (脳神経外科領域講習 1 単位)	12:00-13:00
理事会 (2208 講義室)	12:00-13:00
支部総会 (2305 講義室)	13:00-13:30
第 151 回支部会賞 授賞式 (2305 講義室)	13:30-13:40
特別企画 (2305 講義室)	14:00-14:15
FD 講習会 (2305 講義室) (脳神経外科領域講習 1 単位)	17:00-18:00

会場案内

会場：産業医科大学 医学部 2 号館 2305 講義室

〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

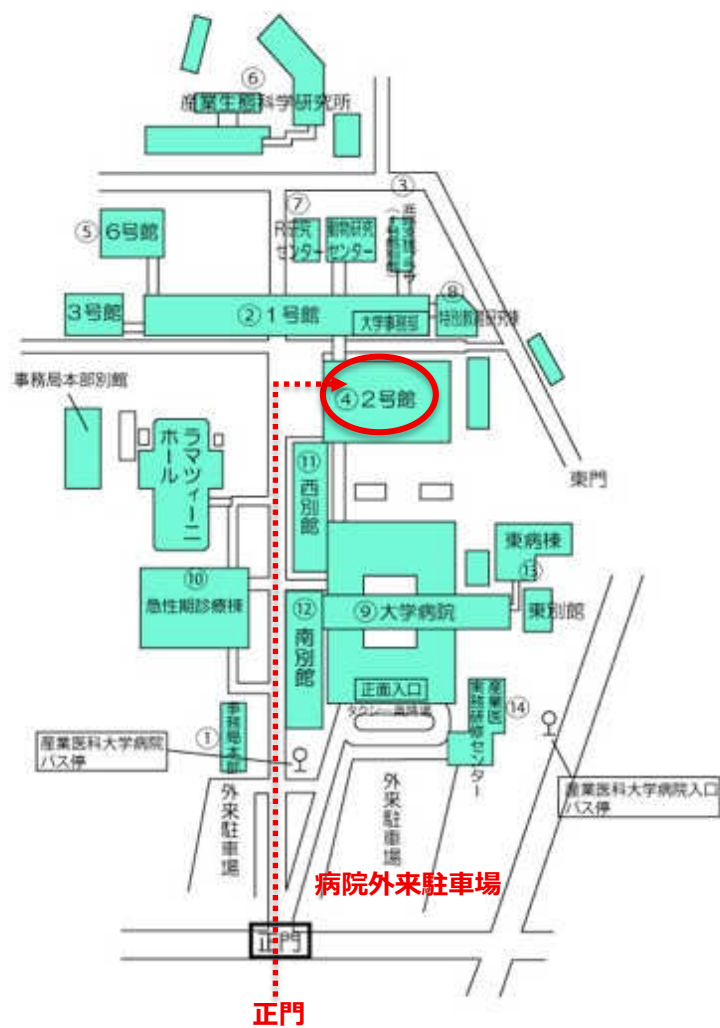
- なるべく公共交通機関をご利用ください。お車の場合は、病院外来有料駐車場をご利用ください。
- PC 受付および参加受付の場所は、当日の案内表示をご確認ください。



産業医科大学 構内案内図



会場は医学部 2 号館 2305 講義室です。構内では当日の案内表示に従ってください。



基本連絡事項

- 本支部会は現地開催のみです。
- 参加希望者は、九州支部会ホームページ（<https://jnsk.jp>）から前日までに参加登録と参加費の支払いを完了してください。
- 一般演題は発表 6 分（予鈴 5 分）、質疑応答 2 分です。時間厳守をお願いします。
- 学会賞を設けております。初期研修医の先生方も対象です。
- 活発な討論となるよう、若手の先生方の積極的な発言・質問をお願いします。
- コメンテーターは発表症例の診断／治療などについて質問・討論をお願いしますが、一般的な知見や統計データなどを引用して無理に発言する必要はありません。

託児室のご案内

- 学術集会の開催中、会場内に無料託児室を設置します。利用には事前手続きが必要です。必要書類は <https://jnsk.jp/branch/> からご確認ください。

利用資格	第 152 回日本脳神経外科学会九州支部会 参加者のお子様
託児時間（予定）	2026 年 9 月 12 日（土） 8:30-17:30
定員	なし
対象年齢	生後 3 か月-未就学児
託児場所	学会会場内（セキュリティ確保のため、申込者にのみ案内）
託児形態	株式会社テノ、コーポレーションへ委託
託児料	無料

本支部会に参加される先生方へ

- 参加費は 2,000 円です。会員の先生方は、事前のオンライン登録・決済をお願いします。
- 現地での登録用紙・現金による参加は、日本脳神経外科学会非会員の初期研修医等に限ります。
- ランチョンセミナーおよび FD 講習会は、脳神経外科領域講習 1 単位として認定されています。
入場時と退場時に会員カードで受付をしてください。
- 無料託児所の利用には事前手続きが必要です。必要書類は <https://jnsk.jp/branch/> からご確認ください。
- 日本脳神経外科学会が行う学術総会・支部学術集会における発表者は、利益相反 conflict of interest (COI) 状態を開示する義務があります。COI 自己登録および発表スライドにその旨を記載することが必要ですのでご注意ください。＊詳細は日本脳神経外科学会[ホームページ](#)をご参照ください。

ご発表の先生方へ

- 発表は九州支部会員で年会費を納めていることが条件です。ただし、初期研修医または他支部に入会し会費を納入している方は、支部会参加費のみで発表できます。
- 発表開始 30 分前までに PC 受付で試写を行い、前演題の開始時には次演者席にご着席ください。
- スライドサイズは 16:9 で作成してください。発表者ツールは使用できません。
- USB メモリでのデータ持参、または PC 持込みが可能です。PC 持込みの場合は HDMI 等の変換コネクタをご持参ください。
- 動画がある場合は、念のためご自身の PC をお持込みください。
- 演台上のモニターとマウスを使用し、ご自身で操作してください。
- 発表データは本学術集会終了後、責任を持って事務局が廃棄致します。

当日緊急連絡先

- 第 152 回日本脳神経外科学会九州支部会事務局 TEL : 093-691-7257

事務局 中野 良昭 yo-naka@med.uoeh-u.ac.jp

プログラム概要

産業医科大学 2305 講義室			
時間	セッション	座長	コメンテーター
8:00-	開会の辞 山本 淳考（産業医科大学）		
8:05-8:37	セッション 1 血管障害 1	折戸 公彦（久留米大学）	田中 俊也（九州大学）
8:40-9:12	セッション 2 血管障害 2	緒方 敦之（佐賀大学）	松下 航（大分大学）
9:15-9:55	セッション 3 血管障害 3	阿南 光洋（大分大学）	前田 肇（長崎大学）
9:55-10:35	セッション 4 血管障害 4	高原 正樹（福岡大学）	河野 朋宏（宮崎大学）
10:40-11:20	セッション 5 血管障害 5・脊髄	齋藤 健（産業医科大学）	新屋 貴裕（琉球大学）
11:20-11:52	セッション 6 てんかん・機能	迎 伸孝（九州大学）	神崎 由起（福岡大学）
	ランチョンセミナー（領域講習） 脳卒中における高血圧治療 ～How to use ARNI～ 平松 亮 （大阪医科薬科大学脳神経外科学 講師）		
12:00-13:00	宮岡 亮（産業医科大学）		
12:00-13:00	理事会（2208 講義室）		
13:00-13:30	支部総会		
13:30-13:40	第 151 回九州支部会賞 授賞式		
13:40-13:56	セッション 7 English Session	齋藤 清貴（宮崎大学）	音琴 哲也（久留米大学）
14:00-14:15	特別企画 海外の学会で発表するための基礎知識 －日本脳神経外科国際フォーラムから－ 名取 良弘（飯塚病院 特任部長）	吉本 幸司（九州大学）	
14:20-15:00	セッション 8 外傷・神経内視鏡	永野 祐志（鹿児島大学）	鈴木 恒平（産業医科大学）
15:00-15:40	セッション 9 腫瘍 1・炎症・感染	竹崎 達也（熊本大学）	牧野 隆太郎（鹿児島大学）
15:45-16:17	セッション 10 腫瘍 2	外間 洋平（琉球大学）	山本 隆広（熊本大学）
16:20-16:52	セッション 11 腫瘍 3	氏福 健太（長崎大学）	並川 裕貴（佐賀大学）
16:55-	閉会の辞 山本 淳考（産業医科大学）		
17:00-18:00	FD 講習会		

ランチョンセミナーのご案内

日時	2026 年 9 月 12 日（土）12:00-13:00
場所	産業医科大学 2305 講義室
座長	宮岡 亮（産業医科大学 脳神経外科学 講師）
演者	平松 亮（大阪医科薬科大学 脳神経外科学 講師）
演題	脳卒中における高血圧治療～How to use ARNI～
共催	第 152 回日本脳神経外科学会九州支部会 大塚製薬株式会社／ノバルティス ファーマ株式会社

理事会のご案内

日時	2026 年 9 月 12 日（土）12:00-13:00
場所	産業医科大学 2208 講義室

支部総会のご案内

日時	2026 年 9 月 12 日（土）13:00-13:30
場所	産業医科大学 2305 講義室

特別企画のご案内

日時	2026 年 9 月 12 日（土）14:00-14:15
場所	産業医科大学 2305 講義室
座長	吉本 幸司（九州支部会 支部長 / 九州大学 脳神経外科学 教授）
演者	名取 良弘（飯塚病院 特任部長）
演題	海外の学会で発表するための基礎知識 －日本脳神経外科国際フォーラムから－

プログラム

——セッション 1 血管障害 1 (8:05-8:37) ——

座長：折戸 公彦（久留米大学）

コメンテーター：田中 俊也（九州大学）

1-1. 血栓回収術後に遅発性高度中大脳動脈狭窄を呈した 1 例

¹九州医療センター脳血管内治療科

森田 隆雄¹、大隈 壮¹、長嶋 孝昭¹、徳永 聡¹

1-2. 機械的血栓回収療法後に 8 日目に過灌流のピークを呈した 1 症例

¹今村総合病院脳神経外科、²鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

福添 大地¹、松田 大樹¹、八代 一孝¹、花谷 亮典²

1-3. 急性期血栓回収術中に診断した Carotid web による脳塞栓症の一例

¹池友会福岡和白病院脳神経外科

塚田 博希¹、山田 真吾¹、齋藤 亮也¹、原田 啓¹、一ノ瀬 誠¹、福山 幸三¹

1-4. 脳底動脈閉塞を来した線維軟骨塞栓症の 1 例

¹大分大学医学部脳神経外科

前田 寛太¹、松下 航¹、阿南 光洋¹、阿部 新¹、有松 海人¹、加賀 駿¹、大西 晃平¹、札幌 博貴¹、松田 浩幸¹、川崎 ゆかり¹、粕井 泰朋¹、秦 暢宏¹

——セッション 2 血管障害 2 (8:40-9:12) ——

座長：緒方 敦之（佐賀大学）

コメンテーター：松下 航（大分大学）

2-1. 肩甲舌骨筋の剥離・牽引が有効であった低位頸動脈狭窄症に対する頸動脈内膜剥離術の 1 例

¹済生会福岡総合病院脳神経外科、²久留米大学医学部脳神経外科

宮城 皓平¹、大津 裕介¹、安藤 尊康¹、梶原 壮翔¹、河野 隆幸¹、坂田 清彦²

2-2. 神経症候と解離した広範な灌流低下が遷延した内頸動脈閉塞の一例—急性期 STA-MCA バイパスの介入時期の考察—

¹新古賀病院 初期臨床研修医、²新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

山羽 優輝¹、亀田 勝治²、溝邊 真由²、下川 能史²、石堂 克哉²、一ツ松 勤²

2-3. 高度石灰化および再狭窄病変を伴う頸部主幹動脈狭窄に対する Scoring Balloon の使用経験

¹福岡大学医学部脳神経外科、²福岡大学病院救命救急センター

齋藤 優香¹、神崎 貴充¹、岡 雄太²、古賀 隆之¹、手賀 丈太¹、神崎 由起²、高原 正樹¹、榎本 年孝¹、小林 広昌¹、森下 登史¹、竹本 光一郎¹、岩朝 光利²、安部 洋¹

2-4. Snare-assisted stabilization と段階的 bailout により完遂した放射線誘発性長区域頸動脈狭窄症に対する CAS の 1 例

¹産業医科大学脳卒中血管内科学・脳神経外科、²産業医科大学脳神経外科、³産業医科大学脳卒中血管内科学

野澤 優太¹、吉原 拓馬²、岸本 拓也²、新原 淳²、黒川 暢³、山本 淳考²、田中 優子³

——セッション 3 血管障害 3 (9:15-9:55) ——

座長：阿南 光洋（大分大学）

コメンテーター：前田 肇（長崎大学）

3-1. クリッピング術後 3 週間で再破裂をきたした破裂微小 ICPC 動脈瘤の 1 例

¹九州医療センター 脳神経外科

田島 皓太¹、西村 中¹、米倉 康太郎¹、雨宮 健生¹、溝口 昌弘¹

3-2. 形成的クリッピングを施行した 破裂 MCA M2 fusiform aneurysm の 1 例

¹鹿児島県立大島病院脳神経外科、²鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

三原 悠大¹、樋渡 貴昭¹、花谷 亮典²

3-3. くも膜下出血発症と発症前日較差の関連

¹社会医療法人製鉄記念八幡病院脳卒中・神経センター

佐藤 航平¹、佐山 徹郎¹、山口 慎也¹、横溝 明史¹

3-4. 治療直前に自然完全血栓化を認めた症候性末梢中大脳動脈大型部分血栓化動脈瘤の 1 例

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野、²都城市郡医師会病院脳神経外科

森 夢実¹、河野 朋宏¹、日高 正登¹、河野 智樹²、大田 元²、沖田 典子¹

3-5. 出血性ショックで救急搬送された浅側頭動脈瘤の一例

¹北九州総合病院脳神経外科初期研修医、²北九州総合病院脳神経外科、³産業医科大学脳神経外科

武藤 詠周¹、浦勇 春佳²、安次嶺 裕²、外尾 要²、野上 健一郎²、出井 勝²、山本 淳考³

——セッション 4 血管障害 4 (9:55-10:35) ——

座長：高原 正樹（福岡大学）

コメンテーター：河野 朋宏（宮崎大学）

4-1. グラス型ヘッドマウントディスプレイを用いたハイブリッド手術室での脳動静脈奇形摘出術の一例

¹小倉記念病院脳卒中センター脳神経外科

福井 貞孝¹、梅村 武部¹、安部倉 友¹、小野 功朗¹、小川 智也¹、阪本 宏樹¹、朴 実樹¹、安部 大介¹、橋本 隼¹、中安 慎太郎¹、北澤 良明¹、古賀 多門¹、住田 莞¹、波多野 武人¹

4-2. 3 歳児の頭蓋内 pial AVF と頭皮 AVF の合併例に対し一期的直達手術を施行した一例

¹九州大学大学院医学研究院脳神経外科

久保 裕太郎¹、田中 俊也¹、有村 公一¹、黒木 亮太¹、中溝 玲¹、吉本 幸司¹

4-3. テント部 dural arteriovenous fistula (dAVF) に対する経動脈的塞栓中に straight sinus 内に Onyx が迷入した一例

¹産業医科大学 脳卒中血管内科学、²産業医科大学 脳神経外科学

新原 淳¹、水野 航佑¹、岸本 拓也¹、黒川 暢¹、山本 淳考²、田中 優子¹

4-4. 両側椎骨動脈解離によるくも膜下出血に対し段階的血管内治療を行った 1 例

¹佐賀大学医学部脳神経外科

桃崎 明彦¹、熊本 光希¹、緒方 敦之¹、伊藤 優宏¹、穴井 智¹、前山 元¹、並川 裕貴¹、伊藤 寛¹、吉岡 史隆¹、増岡 淳¹、阿部 竜也¹

4-5. 再発上咽頭癌に合併した内頸動脈仮性動脈瘤破裂に対するフローダイバーター治療の一例

¹琉球大学病院脳神経外科、²琉球大学病院第三内科、³敬愛会中頭病院脳神経外科

上原 未琴¹、福田 健治¹、友寄 龍太²、平 直記³、新屋 貴裕¹、下里 倫¹、浜崎 禎¹

——セッション 5 血管障害 5・脊髄（10:40-11:20）——

座長：齋藤 健（産業医科大学）

コメンテーター：新屋 貴裕（琉球大学）

5-1. 頸椎症性椎骨動脈高度狭窄により小脑梗塞を繰り返した一例

¹九州労災病院 門司診療センター脳神経外科、²脳神経センター大田記念病院 脊椎脊髄外科、³産業医科大学脳神経外科

酒井 恭平¹、三井 敬仁¹、野口 祥平²、太田 浩嗣¹、大隣 辰哉²、山本 淳考³

5-2. 上位頸椎固定術後の椎骨動脈障害に対する予防的血管内治療の有用性 — 2 症例の検討 —

¹鹿児島大学病院臨床研修医、²鹿児島大学脳神経外科

永野 聡大¹、永野 祐志²、菅田 淳²、東 拓一郎²、山畑 仁志²、花谷 亮介²

5-3. 側副血行路の温存を意識したコイル塞栓術を施行した頸椎骨棘による vertebral artery stump syndrome の一例

¹長崎大学医学部脳神経外科、²長崎大学病院脳神経内科

魚谷 周平¹、松永 裕希¹、立石 洋平²、小川 由夏¹、前田 肇¹、辻野 彰²、松尾 孝之¹

5-4. くも膜下出血で発症した頭蓋頸椎移行部 perimedullary arteriovenous fistula の 1 例

¹福岡市民病院脳神経外科、²福岡大学医学部脳神経外科

松下 龍仁¹、福島 浩¹、吉野 慎一郎¹、平川 勝之¹、安部 洋²

5-5. 皮膚徴候を契機に診断された脊髄脂肪腫・split cord malformation (SCM) の 2 例

¹久留米大学医学部脳神経外科

宮原 夏子¹、下川 尚子¹、橋本 洋佑¹、牧園 剛大¹、音琴 哲也¹、坂田 清彦¹

——セッション 6 てんかん・機能 (11:20-11:52) ——

座長：迎 伸孝 (九州大学)

コメンテーター：神崎 由起 (福岡大学)

6-1. 超難治性てんかん重積状態に対し準緊急的に焦点切除術を施行し制御し得た一例

¹九州大学大学院医学研究院脳神経外科、²九州大学大学院医学系研究院脳神経外科、³九州大学大学院医学系研究院脳神経内科、⁴

九州大学大学院医学系研究院病理診断科、⁵九州大学病院検査部

石井 知温¹、迎 伸孝²、桑原 和久²、今林 悠大²、田尾 友里絵²、田中 俊也²、有住 嘉洋³、増本 陽介⁴、立石 悠基⁴、持丸 明美⁵、渡邊 恵利子⁵、酒田 あゆみ⁵、有村 公一²、吉本 幸司²

6-2. 脳アミロイドアンギオパチー関連脳葉型出血に伴う薬剤抵抗性てんかん重積に対して外科治療を施行した 1 例

¹済生会八幡総合病院 脳神経外科、²久留米大学医学部脳神経外科

松村 舜祐¹、高島 知央¹、大久保 卓¹、宮城 尚久¹、坂田 清彦²

6-3. 抗アミロイド β 抗体薬治療中に痙攣重積をきたした Alzheimer 型認知症の 1 例

¹九州労災病院 門司メディカルセンター脳神経外科、²産業医科大学脳神経外科

三井 敬仁¹、酒井 恭平¹、太田 浩嗣¹、山本 淳考²

6-4. 薬物療法が奏功した小児重症頭部外傷後発生交感神経過活動の 1 例

¹久留米大学医学部脳神経外科、²久留米大学医学部医学科救急医学講座

高岡 晋彦¹、菊池 仁¹、松村 舜祐¹、橋本 洋佑¹、高須 修²、坂田 清彦¹

——セッション 7 English Session (13:40-13:56) ——

座長：齋藤 清貴（宮崎大学）

コメンテーター：音琴 哲也（久留米大学）

7-1. Brain Metastasis from Secretory Carcinoma of the Parotid Gland Revealed by Surgical Resection after Stereotactic Radiotherapy

¹長崎大学医学部脳神経外科、²長崎大学病院 病理診断科

白濱 麻衣¹、日宇 健¹、上木 望²、竹内 雅臣¹、内田 大貴¹、松尾 彩香¹、松永 裕希¹、前田 肇¹、馬場 史郎¹、氏福 健太¹、吉田 光一¹、松尾 孝之¹

7-2. Drug-Induced Allergy to Antibiotic-Impregnated Shunt Catheter (Bactiseal)

¹北九州総合病院脳神経外科、²産業医科大学脳神経外科

浦勇 春佳¹、出井 勝¹、安次嶺 裕²、外尾 要¹、野上 健一郎¹、山本 淳考²

——セッション 8 外傷・神経内視鏡（14:20-15:00）——

座長：永野 祐志（鹿児島大学）

コメンテーター：鈴木 恒平（産業医科大学）

8-1. 小児頭部外傷に合併した外傷性脳室内出血の 1 例

¹福岡大学病院救命救急センター、²福岡大学医学部脳神経外科

板谷 太郎¹、神崎 由起¹、岡 雄太¹、神崎 貴充²、古賀 隆之²、手賀 丈太²、高原 正樹²、榎本 年孝²、小林 広昌²、森下 登史²、竹本 光一郎²、岩朝 光利¹、仲村 佳彦¹、安部 洋²

8-2. 軽症頭部外傷後に SIADH を合併し、長期のトルバプタン管理を要した 1 例

¹佐賀県医療センター好生館脳神経外科

根路銘 安允¹、香野 草太¹、井戸 啓介¹、松本 健一¹

8-3. トルコ鞍近傍に発生した collision tumor に対し一期的に内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術を行った 2 症例

¹久留米大学医学部脳神経外科、²久留米大学医学部病理学講座

貞方 創志¹、橋本 彩¹、山川 曜¹、音琴 哲也¹、吉武 秀展¹、中村 英夫¹、古田 拓也²、三好 寛明²、坂田 清彦¹

8-4. 視床神経上皮性嚢胞による非交通性水頭症に対し神経内視鏡手術が奏功した 1 例

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

森 美流¹、牧野 隆太郎¹、米澤 大¹、藤尾 信吾¹、花谷 亮典¹

8-5. 神経内視鏡下血腫除去術後に広範な静脈洞内への空気流入を認めた 1 例

¹福岡赤十字病院脳神経外科、²福岡大学医学部脳神経外科

渡邊 恵理子¹、山城 慧¹、武村 有祐¹、安部 洋²

——セッション 9 腫瘍 1・炎症・感染（15:00-15:40）——

座長：竹崎 達也（熊本大学）

コメンテーター：牧野 隆太郎（鹿児島大学）

9-1. 閉塞性水頭症を伴う Lhermitte Duclos-disease に対し外科治療を行った一例

¹産業医科大学脳神経外科

小林 由佳¹、藤 圭太¹、隈部 理子¹、新原 淳¹、野澤 優太¹、岸本 拓也¹、切石 唯菜¹、吉原 拓馬¹、井上 雅皓¹、佐藤 甲
一朗¹、長坂 昌平¹、鈴木 恒平¹、宮岡 亮¹、齋藤 健¹、中野 良昭¹、山本 淳考¹

9-2. 術前聾から術後有効聴力まで著名な改善を認めた 前庭神経鞘腫の 1 例

¹新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

溝邊 真由¹、一ツ松 勤¹、下川 能史¹、亀田 勝治¹、石堂 克哉¹

9-3. 類表皮嚢胞から扁平上皮癌への悪性転化が示唆された小脳橋角部嚢胞性腫瘍の 1 例

¹熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座、²熊本大学病院病理診断科

坂口 諒¹、出来田 祐治¹、内川 裕貴¹、竹崎 達也¹、三上 芳喜²、武笠 晃丈¹

**9-4. 含気化前床突起内炎症による急速進行性視力障害に対し視神経管開放と有茎骨膜弁被覆を行っ
た 1 例**

¹産業医科大学脳神経外科

隈部 理子¹、藤 圭太¹、小林 由佳¹、新原 淳¹、野澤 優太¹、岸本 拓也¹、切石 唯菜¹、吉原 拓馬¹、井上 雅皓¹、佐藤 甲
一朗¹、長坂 昌平¹、鈴木 恒平¹、宮岡 亮¹、齋藤 健¹、中野 良昭¹、山本 淳考¹

9-5. Streptococcus canis による硬膜下膿瘍の 1 例

¹佐賀大学医学部脳神経外科、²独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

並川 裕貴¹、萩原 大晴²、伊藤 優宏¹、穴井 智¹、前山 元¹、桃崎 明彦¹、伊藤 寛¹、吉岡 史隆¹、緒方 敦之¹、増岡 淳¹、
阿部 竜也¹

——セッション 10 腫瘍 2（15:45-16:17）——

座長：外間 洋平（琉球大学）

コメンテーター：山本 隆広（熊本大学）

10-1. 頭蓋冠リンパ腫の自然退縮：症例報告

¹琉球大学医学部医学科、²琉球大学病院脳神経外科、³那覇市立病院脳神経外科、⁴琉球大学病院病理診断科、⁵琉球大学
医学研究科腫瘍病理学、⁶琉球大学病院放射線科

町田 宗文¹、外間 洋平²、喜舎場 一貴³、國仲 倫史²、宮平 博史⁴、富田 真理子⁵、和田 直樹⁴、與儀 彰⁶、浜崎 禎²

10-2. 難治性三叉神経痛を契機に診断された Neurolymphomatosis を伴う Nodal Marginal Zone Lymphoma 再発の一例

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野、²宮崎大学医学部病理学講座腫瘍形態病態学分野

中村 拓哉¹、齋藤 清貴¹、山下 真治¹、佐藤 勇一郎²、沖田 典子¹

10-3. 成人で発症した SMARCA4 変異型非定型奇形腫様ラブドイド腫瘍(AT/RT) の一例

¹熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座、²熊本大学病院病理部

桶谷 溪一郎¹、山本 隆広¹、黒田 順一郎¹、泉 俊介¹、松浦 任¹、田中 一仁²、山田 倫²、宮里 祐子²、三上 芳喜²、武笠 晃丈¹

10-4. 頭蓋内孤立性線維性腫瘍の腫瘍出血により脳ヘルニアを来した一例

¹川内市医師会立市民病院脳神経外科

齊藤 大倫¹、田上 なつ子¹、時村 洋¹、横田 航士¹、田實 謙一郎¹

——セッション 11 腫瘍 3 (16:20-16:52) ——

座長：氏福 健太（長崎大学）

コメンテーター：並川 裕貴（佐賀大学）

11-1. 21 トリソミーに発症した Posterior Fossa Group A (PFA) 上衣腫の 1 例

¹熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座、²熊本脳神経外科病院、³熊本大学病理診断科（病理部）、⁴群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野

藤本 雄太¹、井上 博貴¹、黒田 順一郎¹、山本 隆広¹、藤本 健二¹、井上 信博²、塩田 拓也³、吉井 大貴³、三上 芳喜³、横尾 英明⁴、武笠 晃丈¹

11-2. 診断に難渋した High-grade astrocytoma with piloid features の一例

¹福岡大学医学部脳神経外科、²福岡大学医学部病理学講座

橋川 武史¹、榎本 年孝¹、千住 和正¹、神崎 貴充¹、古賀 隆之¹、手賀 丈太¹、高原 正樹¹、小林 広昌¹、森下 登史¹、竹本 光一郎¹、埜本 僚太²、青木 光希子²、濱崎 慎²、安部 洋¹

11-3. 初回手術から 25 年後に悪性に変化発症した Oligodendroglioma の 1 例

¹医療法人 正島脳神経外科、²静便堂白石共立病院脳神経脊髄外科、³静便堂白石共立病院 放射線科、⁴久留米大学医学部 病理学教室

正島 弘隆¹、本田 英一郎²、劉 軒²、松本 幸一³、古田 拓也⁴

11-4. 髄腔内播種と多発骨転移を伴い急速に進行した Oligodendroglioma の 1 例

¹大分大学医学部附属病院卒後臨床研修センター、²大分大学医学部脳神経外科

水江 昂之介¹、有松 海人²、札幌 博貴²、前田 寛太²、加賀 駿²、松下 航²、大西 晃平²、松田 浩幸²、川崎 ゆかり²、阿南 光洋²、粕井 泰朋²、秦 暢宏²

FD 講習会のご案内

第 152 回日本脳神経外科学会九州支部会

日時

2026 年 9 月 12 日（土） 17:00～18:00

場所

産業医科大学 2305 講義室